

韓国

マクロ経済動向と展望

2007年第一四半期の実質GDP成長率は季節調整値で前期比0.9%増(年率3.6%)となり、昨年後半からの景気の減速傾向が継続している。需要項目別に見ると最終消費支出は同1.2%、固定資本形成は同2.0%で、その内、機械設備投資が同4.0%と比較的高い伸びを記録した。一方、輸出はウォン高の進行にもかかわらず、同3.2%と堅調であった。

直近の経済指標を見ると、産業生産指数は季節調整値で4月は前月比3.1%増から5月は同0.9%に低下している。失業率は季節調整値で4月に3.3%、5月に3.4%とやや悪化の傾向が見られる。

為替レートは月中平均で、3月の1ドル=943ウォンから、4月931ウォン、5月927ウォン、6月928ウォンと推移し、ウォン高が進行している。しかしこうした為替の状況にも関わらず、輸出額は堅調な伸びを記録している。この背景には韓国製品の品質面での競争力の向上、自動車などの現地生産の増加、輸出市場の多角化などの要因があると考えられる。

こうした中、政府系シンクタンク、韓国開発研究院(KDI)が5月に発表した2007年の経済予測では、今年の成長率を昨年の5%を下回る4.4%と見込んでいる。同予測では年前半は4.5%を下回る成長に止まるが、後半やや持ち直し通年で上記の成長を実現するとしている。

需要項目別に見ると最終消費支出は4.5%と前年と同水準。固定資本形成は5.7%と前年を上回るが、このうち機械設備投資は前年並みの7.6%で、公共投資を中心とした建設投資が前年のマイナスから4.3%と拡大し、全体を底上げすると見込んでいる。

輸出(実質)は10.5%で、前年の12.4%からは伸び率は低下するが、貿易収支の黒字基調は維持され、サービスを

含む経常収支もほぼ均衡を保つと予測している。

また失業率は、前年の3.5%から3.3%に改善し、消費者物価上昇率は前年の2.2%から2.6%に高まるとしている。

大統領選に向けた政界の動向

12月に予定されている大統領選挙に向けて、政界の動きが激しくなっている。現在の世論調査では、盧武鉉政権の支持率低迷の中、保守野党・ハンナラ党陣営の、李明博前ソウル市長、故朴正熙元大統領の長女の朴槿恵氏の両候補が優位に立っている。

6月27日には与党ウリ党から集団脱党したグループと、金大中前大統領の流れを汲む民主党が合流し、「中道統合民主党」が結成された。これは盧武鉉大統領から距離を置き、保守陣営に対抗できる大統領候補を擁立するための動きといえる。これを受け、ハンナラ等の候補レースで第三位に付けていた孫鶴圭前京畿道知事は、同党からの大統領選への出馬を表明した。またこれとは別に、6月にウリ党を離党した鄭東泳元統一相(元ウリ党代表)が7月3日に大統領選挙への出馬を表明している。その他、盧武鉉政権の前首相の韓明淑氏、元首相の李海瓊氏などが与党陣営からの出馬表明し、当初有力視された高建元首相の出馬辞退以降、有力な候補者が見当たらなかった与党系候補の競争は過熱しはじめた。

7月5日には上記4氏を含む与党系候補者6人が国会内で会合を持ち、統合新党を結成して、統一候補を選出することに合意した。しかし、盧武鉉大統領直系の現ウリ党と、離党勢力との反目は残っており、今後の動向は予断を許さない。また6人の候補者の中には、孫前知事のような“与党系”とは言いがたい人物も含まれており、保守陣営の動向によっても、候補者の予備選挙の枠組みは変動する可能性がある。

(ERINA調査研究部研究主任 中島朋義)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	06年4-6月	7-9月	10-12月	07年1-3月	2007年3月	4月	5月
国内総生産(%)	7.0	3.1	4.6	4.0	5.0	0.8	1.2	0.9	0.9	-	-	-
最終消費支出(%)	7.6	0.3	0.2	3.4	4.5	0.8	1.1	1.1	1.2	-	-	-
固定資本形成(%)	6.6	1.9	1.9	2.3	3.2	0.5	2.8	1.2	2.0	-	-	-
産業生産指数(%)	8.0	5.1	10.4	6.3	10.1	0.4	0.5	2.7	0.7	0.3	3.1	0.9
失業率(%)	3.3	3.6	3.7	3.7	3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	3.3	3.4
貿易収支(百万USD)	14,777	21,952	37,569	32,683	29,214	7,414	6,228	10,350	6,181	1,292	2,387	2,501
輸出(百万USD)	162,471	193,817	253,845	284,419	325,465	81,473	82,713	87,394	84,705	30,385	29,934	31,118
輸入(百万USD)	152,126	178,827	224,463	261,238	309,383	76,270	80,216	79,905	82,172	29,206	29,411	29,724
為替レート(ウォン/USD)	1,251	1,192	1,144	1,024	955	950	955	938	939	943	931	927
生産者物価(%)	0.3	2.2	6.1	2.1	2.3	2.5	3.1	2.0	1.8	2.2	2.5	2.5
消費者物価(%)	2.7	3.5	3.6	2.8	2.2	2.3	2.5	2.2	2.0	2.2	2.5	2.3
株価指数(1980.14:100)	-	-	896	1,379	1,434	1,295	1,371	1,434	1,410	1,453	1,542	-

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、産業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、産業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2000年基準、消費者物価は2005年基準

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、統計庁他